

新たな対応資機材等の調査について（案）

1. より有効な消防活動を実施するために効果的と考えられる事項

(1) 消防隊員の身体的負担の軽減

防護装備の機動性や快適性が向上することにより、消防隊員の身体への負担が軽減することが考えられる。

身体への負担が軽減された場合は、より効率的な活動が可能になることが想定され、活動時間の短縮に伴う放射線被ばくの低減につながることを期待される。

(2) 各種機器類の操作性の向上

各種機器類の操作方法が複雑、防護装備着装後の操作が困難な機器等の場合は、操作部分や表示部分を大きくかつ見やすくすることにより、機器の操作にかかる時間の短縮や、誤作動が減ることなどが考えられる。

また、耐久性、耐衝撃性、耐熱性及び防水性等が向上することにより、消防活動時における故障や動作不良の可能性が低減し、円滑な消防活動に実施につながることを期待される。

(3) 新資機材の活用による活動能力の向上

放射性物質事故等における消防活動を行うには、放射性物質等に関する専門的な知識や知見が必要であることから、原則、関係者や専門家の助言のもと活動を行うが、事故の初動段階では、消防隊員のみで火災や救助・救急活動を行うことも想定される。

この場合において、消防隊員が活動を行うに当たり、被ばく防護の観点から危険度の判断が簡易に行えることや、危険な区域から退出する者の汚染検査を迅速に行えることにより、迅速・的確な消防活動の実施につながることを期待される。

2. 新資機材の調査

上記1の観点を踏まえ、広く情報収集や文献調査を行い、性能や特徴、また、消防活動における用途等を整理のうえ、資機材毎に別紙1「資機材個票」を作成する。

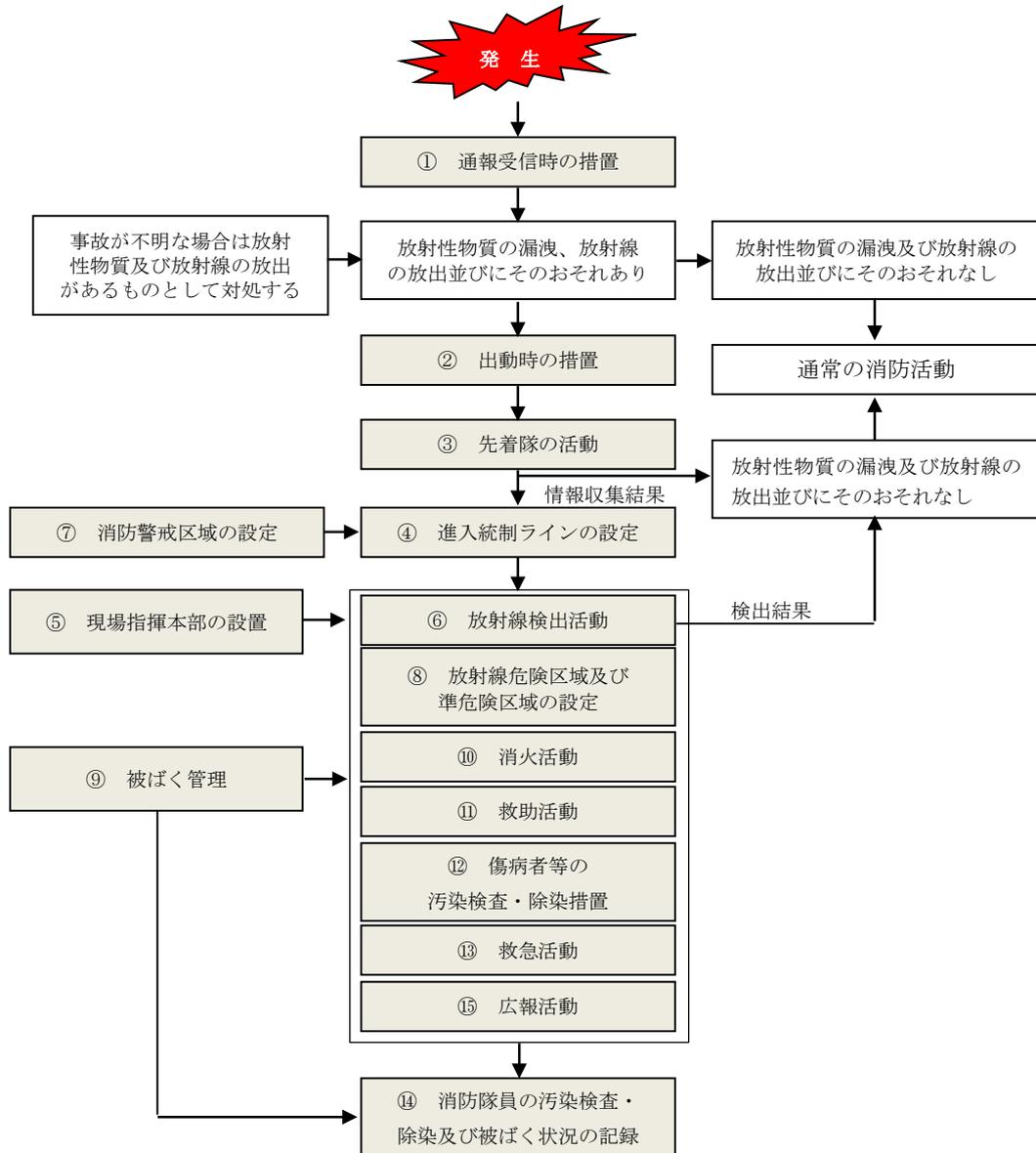
なお、ここでいう消防活動とは、別紙2「原子力施設等における消防活動全体フロー」に掲げる①から⑮の各区分の活動をいう。

資機材個票

製品名 (型 式)	
種 別 (いずれかに○)	① 内部被ばく防護 ② 外部被ばく防護 ③ 汚染検査・除染 ④ 放射線量等測定機器 ⑤ その他資機材
メーカー	
機 能	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">写真・イラスト等</div>
性能・諸元	
特 徴	
消防活動に おける用途	
参考価格	
備 考	

※ 必要に応じ参考資料を添付すること。

原子力施設等における消防活動全体フロー（マニュアル抜粋）



- ①：第1 通報受信時の措置
- ②：第2 出動時の措置
- ③：第3 先着隊の活動
- ④：第4 進入統制ライン
- ⑤：第5 現場指揮本部の設置
- ⑥：第6 放射線検出活動
- ⑦：第7 消防警戒区域の設定
- ⑧：第8 放射線危険区域及び準危険区域の設定
- ⑨：第9 被ばく管理
- ⑩：第10 消火活動
- ⑪：第11 救助活動
- ⑫：第12 傷病者等の汚染検査・除染措置
- ⑬：第13 救急活動
- ⑭：第14 活動隊員等の汚染検査・除染及び被ばく状況の記録等
- ⑮：第15 広報活動